

不祥事根絶のための行動計画 福山市立鳳中学校

学校組織としての不祥事防止体制の確立

目 標：鳳中学校から絶対に不祥事を起こさないよう、一人一人が鳳中の職員であるという自覚と誇りを持って組織の一員として取り組む。

課 題：学校教育目標の実現に向かう前向きな教職員集団の育成

不祥事防止委員会の更なる充実。

行動目標：この学校から不祥事を絶対に出さないという、強い使命感を持って委員会が中心となって活動する。

取組内容：毎月1回開かれる不祥事防止委員会では、ヒヤリハットを交流し、具体的な改善策を考えることを通して、未然防止につなげる。

学年会や、分掌会を中心として、めざす生徒像の実現にむけて、ベクトルを揃えて取り組む。

点検方法：毎月、主任会で進捗状況を確認する。

教職員の倫理観の確立

目 標：高い倫理観と使命感を持った教職員

課 題：やる気はあるが、服務研修において受け身になりがちである。

行動目標：年間計画に基づき定期的に校内研修を実施する。

取組内容：学年部で研修を受け持つなど、教職員が主体的に研修を実施するようにする。

点検方法：学期に1回アンケートを実施する。

教育の原点

使 命：私たちは子どもたちを守り育てます。

遵 守：私たちは法令を遵守します。

公 正：私たちは不祥事を許しません。

公 開：私たちは地域に開かれた学校にします。

相談体制の確立

目 標 生徒や教職員が問題に直面した時に、すぐに相談できる体制を整え、早期発見、早期対応をめざす

課 題：①セクハラ窓口等の周知が徹底されていない。

②生徒と関わる時間が取れにくい。

行動目標：①年間を通して相談窓口の周知を行う。

②相談しやすい体制を体制や雰囲気をつくる。

取組内容：①掲示物を刷新し、校内掲示の充実を図る。全保護者にプリントを配布し、家庭にも掲示してもらう。通信等で繰り返し周知を図る。各学期全保護者を対象に学校アンケートを行い、相談体制を整える。

②アンケートを実施し、教育相談を定期的に持つ。声をかけやすい雰囲気をつくり、日常的に相談に応じる。

点検方法：①各学期全保護者を対象に行ったアンケートから分析する。

②生徒アンケートから分析する。